

## 日韓フォーラム

「東電福島第一原発ALPS処理水放出開始から1年、教訓を問う  
実現可能で地元復興と両立する開かれた廃炉は、どうすればできるのか」

**日時:** 2024年 8月26日(月曜日) 13:00

**場所:** 福島大学 L3教室

**主催:** 社団法人) アジア国際法発展研究会(DILA-KOREA)

<http://www.dila-korea.org/>

**共同主催:** 福島大学 食農学類 林研究室(※)・共生システム理工学類 柴崎研究室(※※)

**協力:** 福島円卓会議

**後援:** 福島大学 (申請中)

(※) 林薫平 福島県漁連 地域漁業復興協議会委員、  
みやぎ生協・コープふくしま理事、福島円卓会議

(※※) 柴崎直明 福島県廃炉安全監視協議会専門委員、  
福島第一原発地質・地下水問題団体研究グループ代表、福島円卓会議

# 日韓フォーラム

「東電福島第一原発ALPS処理水放出開始から1年、教訓を問う  
実現可能で地元復興と両立する開かれた廃炉は、どうすればできるのか」

2024年8月26日(月)

13:30 - 13:40 **開会式 (開会の辞)**

- 共同主管者: 林 薫平・李 碩祐教授

13:40 - 14:40 **セッション1: ALPS処理水放出1年とこれからの廃炉 教訓を問う**

▶ 司會:

- 林 薫平

▶ 発表:

- 林 薫平 (福島大学准教授/ 日本)

: 復興と廃炉の両立を問ういくつかの視点～漁業復興を推進する立場から

- 柴崎直明 (福島大学教授/ 日本)

: 地下水・汚染水の抜本的な対策～地元から見た優先事項をどう踏まえるべきか

▶ 討論:

- 堀川直子 (早稲田大学招聘研究員/ 日本)

: 廃炉工程を国際的に開かれたものにするには

- 新聞記者 (河北新報/ 日本)

: ジャーナリストの立場から、取材を通して考えたこと

14:40 - 14:55 **休息**

14:55 – 15:55 **セッション2: 福島原発事故の教訓-日韓の観点**

▶ **司會:**

- 李 碩祐

▶ **發表:**

- 片山夏子 (東京新聞・福島特別支局長 記者/ 日本)  
: 東電の原発作業員と廃炉
- 羅 允慶 (延世大學校 文化人類學科 教授/ 韓國)  
: 文化人類学の観点から見た福島事故
- 大坂恵里 (東洋大學 法学部 法律学科 教授/ 日本)  
: 原発公害と環境法

---

15:55 – 17:30 **総合討論**

▶ **司會:**

- 黃 性淇 (ソウル新聞 論説顧問/ 韓國)

▶ **問題提起:**

- 李 碩祐 (DILA-KOREA 代表/ 仁荷大學校 法学専門大学院 教授/ 韓國)  
: 災難, 責任, 復旧そして回復
- 曹 永官 (辯護士, 法務法人 徳壽/ 韓國)  
: 政府と被害者の話し合い-韓国セウォル号の事故の事例

▶ **総合討論:**

- 林 薫平 (福島大学准教授/ 日本)
- 柴崎直明 (福島大学教授/ 日本)
- 堀川直子 (早稲田大学招聘研究員/ 日本)
- 片山夏子 (東京新聞・福島特別支局長 記者/ 日本)
- 羅 允慶 (延世大學校 文化人類學科 教授/ 韓國)
- 大坂恵里 (東洋大學 法学部 法律学科 教授/ 日本)
- 菅野朋子 (韓国在住ジャーナリスト)